

## 2019年度 個人研究実績・成果報告書

2020年 4月 22日

所属・職名	政策情報学部 准教授	氏名	吉羽 一之
研究課題	防災、災害時におけるインフォグラフィックスの伝達性の検証		
研究キーワード	インフォグラフィックス、サインデザイン、タイポグラフィ	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>2019年度の研究実施計画に基づき、防災もしくは災害時のインフォグラフィックスの作成を目的とした本研究において、いくつかの地域を調査したところ、防災もしくは災害時以前に、区域や地域全体のサインデザインに対する考察の必要性が生じ、先にその検証から取り組んだ。タイププロジェクト株式会社の都市フォントは、活字書体の視認性や誘目性、さらには地域性をも含めた書体設計に取り組まれているプロジェクトであり、本研究の有益な先行事例となる。本年度に執筆した下記の論文の中では、地域イベントにおけるグラフィックデザインの視点で、その地域性について言及しているが、その成果と本年度より取り組んでいる共同研究者同士の勉強会等で得た知見をふまえ、2020年度以降、研究を継続することで、地域性をふまえた書体評価やサインデザインなど、デザイン領域にとどまらない横断的なデザインが提案できるものを期待できる。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【論文】「地域イベントにおけるグラフィックデザインについての検討」、          国府台経済研究『地域活性化に対するアートの役割について』第30巻・第2号・第3章、          2020年3月、査読無</p> <p>その他、実務としてデザイン制作・公開。</p> <p>3. 主な経費</p> <p>比較分析のためのフォントデータ、実践及び検証のためのソフト、及び印刷用資材の購入。その他、学会、勉強会等の参加費。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p>【その他の助成金】共同研究：千葉商科大学経済研究所研究助成金「防災についての学際的な研究」</p>			

(本文は1ページ以内にまとめること)